

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	総合演習 II		
担当者 (Instructors)	三好 弥生	配当年次 (Dividend year)	2
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
総合演習 II では、「ボランティア」の実践演習を通して得た結果を分析し把握する方法を学ぶ。また、課題の見つけ方を学び、解決策を検討する。さらに、卒業研究に繋がるテーマを考える。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態 (Class form)	演習
授業の方法 (Class method)	テーマについて調べプレゼンテーションし、グループでディスカッションする。また、後半フィールドワークを実践する。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	ガイダンス	総合演習 II の内容、進め方、評価方法など	<input type="checkbox"/>
第2回	具体と抽象について学ぶ	具体と抽象の意味と関係を理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	具体化と抽象化	具体と抽象を行ったり来たりする思考力を養う	<input type="checkbox"/>
第4回	健康実践演習のリハーサル	説明、実践、振り返りなどタイムスケジュールを確認する	<input type="checkbox"/>
第5回	健康実践演習の実施	1 回生対象の健康実践演習を実施する	<input type="checkbox"/>
第6回	健康実践演習実施の振り返り	健康実践演習実施を振り返り、気づきを共有する	<input type="checkbox"/>
第7回	アンケート結果の分類、分析	アンケート結果をカテゴリー化し、考察する	<input type="checkbox"/>
第8回	健康の定義、障害の捉え方	「医学モデル」と「社会モデル」 バリアフリーを阻む4つのバリア	<input type="checkbox"/>
第9回	障害を体験する	障害を有するということ、視覚障害、肢体不自由（片麻痺）の体験	<input type="checkbox"/>
第10回	建物内のバリアを点検の準備	キャンパス内のチェック場所・箇所の確認、何をどのようにチェックするのか検討	<input type="checkbox"/>
第11回	建物内のバリアを点検する	大学キャンパスの建物内を巡り、バリアフリーの現状を視察・点検する 結果を整理し、改善策を検討する	<input type="checkbox"/>
第12回	情報・資料・文献の収集	卒業研究に繋がるテーマを見つける	<input type="checkbox"/>
第13回	情報・資料・文献を整理する	卒業研究のテーマに関連する知見を整理する	<input type="checkbox"/>
第14回	情報・資料・文献を整理する	卒業研究のテーマに関連する知見を整理する	<input type="checkbox"/>
第15回	総合演習 II 全体のまとめ、総括	総合演習 I 全体のまとめ、総括	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)</b>	
事前学習として、次回のテーマやキーワードについて調べ予習する（2時間程度）。授業後は、学んだことを作成する（2時間程度）。	

<b>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</b>	
基本的に課題・レポートは翌週の授業で発表し、ディスカッションを通してフィードバックする。	

<b>■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)</b>		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	障害者の置かれた状況と社会の側の課題を理解することができる

思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	様々な社会の問題について、その背景や解決策を考えることができる
主体性	◆ 2019全学共通DP3	問題解決の検討にあたり、メンバー間で問題を共有・協力して解決策を検討することができる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 課題レポートの提出 (40%) ディスカッションへの参加、積極性 (30%) フィールドワークへの参加、積極性 (30%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		